

本日は、多くの卒業生の皆様にお集まりいただき、心より感謝申し上げます。会長をはじめ、役員の皆様、東京支部の皆様、そして顧問の先生方には、同窓会の発展にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

昨年4月に学生募集停止を発表してから、卒業生から多くの反響をいただきました。自分たちが海星で学んだこと、そして海星が好きであるということ、その気持ちが変わらないということがひしひしと伝わり、卒業生の存在を改めて有難く思います。学生たちですが、最初の半年くらいはやはり学内もざわざわしておりましたし、教職員も当然ざわざわしていました。どのようにこれから進めていくのか、最後はどのような形になるのかというのは全く見えない状況で日々進んでいるため、大学を選択し、辞めていった学生もいます。そして今現在も、少し気持ち的に不安なものを抱えた状態でカウンセリングを受けながら通っている学生もいますが、大半の学生は自分がどのような方向に進みたいのか どのような方向が自分に合っているのかということを探しながらそれぞれの道を進んでいるように感じます。現在、在籍する学生数は少なくなり学内は寂しくなりました。どのようにこれまで通りの学生への支援を続けていくかが課題です。

同窓会から大学への援助金により、昨年度の大学祭が成功し、今年度も学生の奨学金や購買部の維持費その他学生の生活の充実のために使わせていただきます。昨年度の大学祭は、学生たちが「栞」をテーマに成功裏に終わり、多くの同窓生に参加いただきました。今年も「彩」をテーマに10月26日(土)大学祭を実施予定ですので、ぜひ多くの卒業生にご参加いただきその彩を添えていただけたらと思います。

同窓生のサークル活動も始まり、デコパージュやヨガレッスン、コーラスサークルなどが行われています。20代から70代と幅広い年齢層の同窓生が参加し、先ほど岡村先生が「海星の特別な空気」のお話をされましたが、それだけ年齢の幅があってもすぐに打ち解け、海星独特の温かい雰囲気があると感じています。

3月の卒業式では、私は「海の雫」というテーマでメッセージを送りました。海星(ステラマリス)という言葉は、元々「スティラ(雫) マリス(海)」という意味があり、それがマリア様の愛称だったという説があります。マザーテレサが困難な状況でも「一滴の雫がなければ海は成り立たない」と語ったことを引用し、学生たちに、自分たちを海の一滴と考え、社会に貢献して欲しい、と伝えました。そして、卒業生一人一人が既に社会で「海の雫」としておられる先輩方と海の一滴として社会で繋がり、ともに海を作ってください、と伝えました。

これから閉学まであと3年間弱、学生数が少なくなり学内も寂しく、いわゆる海星スピリッツを教えてくれる人が周りに少なくなっています。なので、先輩方が学内で活動してくださることはとても意味があると思っています。何か機会があればまたキャンパスに足を運んでいただいて、何らかの活動をしていただけたら大変ありがたいと心から思います。

ありがとうございました。